

介護部会 横浜北部②ブロック会議 報告書

実施日 令和元年 9月 20日(金) 14:00~16:00

会議実施会場 介護老人保健施設 フォーシーズンズヴィラ いろいろ

参加人数 8施設 11名 参加

議事項目 『多職種との連携の取り方について』

看護師との連携について 夜間の救急対応の付き添いスタッフ(介護or看護)

内容

A施設:

基本的に医療処置を中心に業務をされ、介護業務や排泄・入浴・食事等の入居者対応は積極的にしない。手漉きの時に依頼すれば、見守りや食事介助は手伝ってくれる。夜間の救急搬送は現在検討中だが、介護。

B施設:

介護は介護、看護は看護といった形で役割分担をしてお互いに介入はあまりない。夜間の救急搬送は看護が行く。

C施設:

看護によるが、今後はそれをなくし協力的に手伝ってもらう方向。夜間の救急搬送は看護が行く。

D施設

介護スタッフが手薄の時は手伝ってくれる。救急搬送は看護が行く。

E施設

看護師による。救急搬送は介護が行く。

F施設

看護師による。食事介助には入ってくれる。救急搬送はオンコールで看護が行く。

G施設

特別決め事はない。ゆとりがあれば手伝ってくれる。話し合いをすると意見がまとまらない為、上層部だけで決め、通達を行い実施してもらう。

H施設

服薬は看護師がする。救急搬送は介護が行く。

●フリートーク

①1日の最大入所件数、土日の入所受け入れ、受診の介護士付き添いについて

⇒入所件数は3～6とばらつきあり。日曜の受け入れはどの施設も行っていない。日中の受診は、ほぼ看護課が付き添っている。

②ADL表の作成と更新について

⇒ADL表をデータ化して適宜更新をしている施設もあるが、ほとんどの施設はR4を導入しており、担当者会議の実施される3ヶ月更新を行っている。

③SHELL分析の方法について

⇒施設内事故が発生した際には、即カンファレンスを組み原因・対策について他部署と検討、全体への周知をかけるかも含め話し合い報告書の配布や掲示などを活用。翌日に朝礼にて改めて全容を申し送るといった処理が望ましい。